

TOKA@【とかメール】mail

自民党 2020年 夏号

衆議院議員 自民党大阪7区(吹田市・摂津市)支部長

とかしき なおみ

とかしきなおみ後援会事務所

〒564-0026 吹田市高浜町9-16

TEL.06-6319-1535 FAX.06-6319-1536

TOKAメールは衆議院議員とかしきなおみの政治活動報告です。〈お読みください〉

とかしきなおみ / TOKASHIKI NAOMI

【経歴】●1962年生まれ ●昭和大学薬学部卒業 ●早稲田大学ビジネススクール卒業 ●薬剤師免許取得
●(株)資生堂本社(15年勤務) ●衆議院大阪7区(吹田市・摂津市)小選挙区より4期当選 ●厚生労働副大臣
●環境副大臣 ●厚生労働大臣政務官 ●自民党厚生労働部会長 ●自民党副幹事長 ●自民党大阪府連会長
【現在】●自民党環境部会長 ●自民党大阪府第七選挙区支部長/吹田市支部長 ●吹田市片山町在住

“Withコロナ社会で生き残るには”

先日、自民党主催の中央政治大学院で環境部会長として「Withコロナ社会で生き残るには～環境政策から考える～」というテーマで30分間ネットでの講演を行いました。まず

最初にWithコロナ社会は「世界で取り組むテーマ」と「日本国内で取り組むテーマ」の二極分化が起こること。世界で取り組むテーマは、一国だけで取り組んでも解決が期待出来ない、新型コロナに象徴される「感染症」や、温暖化や生物多様性を扱う「環境問題」です。国内での課題は「新たな日常」を造るのに必要な、サプライチェーンや働き方改革、デジタル化、教育格差の是正など自国で取り組む力が一段と必要になるでしょう。

世界各国は環境への取り組みを条件にして、Withコロナ社会で自国が生き残る為の経済支援を行っています。カナダは温暖化ガス削減の取り組みに融資を行い、スイスは太陽光発電に補助を、フランスやオーストラリアは航空業界の救済条件に環境への配慮を入れ、中国は電気自動車の補助を2022年まで延長を、アフリカの国々は水汲みや医療用に再生可能エネルギーの使用を促しています。この様に世界は環境重視の姿勢を経済支援に盛り込んでいるのです。我が国も、このコロナ禍を環境政策を進めていく上での強みにしなくてははいけません。

そこで私は党の環境部会長として「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太の方針)」を自民党内で検討するにあたり、Withコロナ社会に向けた日本の目指すべき方向性を見定める為、国の環境政策の棚卸しに取り組む事にしました。まず現在の環境政策の柱となる「気候変動」「生物多様性」

「循環型社会」「ESG投資」「脱炭素」「国際展開」「福島再生」などの課題に於いて、

①「日本の強みは」②「現在取り組んでいる政策」③「世界でリーダーシップを取る為に今後すべき事とは」の3点で分析を始めました。環境省の職員さんと膝詰めで話し合いを繰り返し、10時間以上かけて一覧表にまとめました。すると不思議な事に、環境政策における日本の強みと弱みが明確になり、今後進むべきゴールは何処にあるのか、そこに行くために今何をすべきかが…はっきり見えてきたのです。まさに暗中模索の葛藤の中、急に光明がさして霧が一気に晴れ渡る感覚。希望が射し込んだ瞬間でした。ここで得た課題の結論を今年の骨太の方針に全て盛り込む事ができたのです。

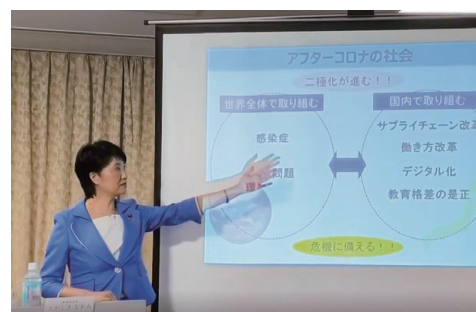
中央政治大学院のネット講演では「混乱期に政治家は何をすべきか」私が取り組んだ一連の流れを少しでも役立てて頂ければと、なるべく解りやすく話しました。経済成長優先でグローバル化を何の迷い

も無く進めて来た人類に、新型コロナは初めて踊り場に立ち留まることを強いました。誰もが先行きが見えなくなった今だからこそ、見えてくるものがあります。将来進む道を見据えるため、現状を分析して自分の立ち位置を確認し、冷静に次の一手を考える時かも知れません。コロナ禍の影響で、残念ながら世界のどの国も、未曾有の混乱が続いています。日本も例外ではありません。

『逆境を強みに変える!人生逃げ場なし』私は国会議員として、今こそ、国民の為に踏ん張る時期と自身に言い聞かせて、必死に仕事に取り組みます。



▲2020年2年3日 予算委員会



▲中央政治大学院での講演の様子



けんと 健都

「健康・医療のまちづくり」が進められているJR岸辺駅前の操車場跡地地域の愛称。正式名称は「北大阪健康医療都市」といいます。
循環器病予防に取り組む、世界で初めての健康・医療のモデル都市として、国立循環器病研究センター、吹田市民病院、国、大阪府、吹田市、摂津市などが連携し、世界に誇れる予防医療のまちづくりを進めています。



健都レールサイド公園



2020年秋 併用開始予定
吹田市立健都ライブラリー



吹田市民病院



国立循環器病研究センター



ニプロ株式会社



国立健康・栄養研究所



明和池公園

JR岸辺駅

JR東海道線(京都線)

至 千里丘駅

ローレルスクエア
健都ザ・レジデンス(マンション)



高齢者向けウェルネス住宅
patona 吹田健都



VIERRA岸辺健都(駅ビル)



お顔や声に触れると、政策のネタがどんどん溢れ出て来るようになりますのです。お陰様でいくつかの政策は既に実行に移すこともできました。

常に良い循環を呼ぶ、このような環境下で政治の仕事に取り組める事に感謝しています。そして少しでも皆様に恩返しを出来る様に、これからも精一杯頑張っ参ります。

私は地元の大阪に帰ると、健都の往復8キロに渡る「緑の散歩道」を時間を作っては歩くようにしています。すると、健都の公園や散歩道を上手に活用し、健康維持に勤しんでいらっしゃる多くの市民の方の声や表情が、たくさん私の眼に入ります。不思議な事に、その生き生きした

証・発信できる国立循環器病研究センターや吹田市民病院、現在建設中の国立研究開発法人医薬基盤研・健康・栄養研究所も備えています。また近くにはパナソニックさんが「予防医療」推進の「健都」の考えに添った街を、2年後のオープンを目指して造ってくれています。

コロナウイルスの先読みは本当に難しく、自身の力不足を認識する日々です。しかし、ただ嘆いていては政治家のミッションである「明るい未来」をつくる事は出来ません。今までに身に付けた医療や環境の知識を活かして、コロナを逆手に取るには・・・と常に考えて形成逆転を目指して頑張って行きたいと思っています。

恵まれている事に、私の地元の吹田市と摂津市には「北大阪健康医療都市(健都)」が、10年かけて既に出来上がっています。この街は、常に新たな挑戦ができ、またそれを検